平成25年第4回上峰町議会定例会会議録

平成25年12月6日（金曜日） 本会議5日
 会期 8日間
 平成25年12月13日（金曜日） 休 会3日

平成25年12月6日第4回上峰町議会定例会は、町議場に招集された。（第1日）	
出席議員 (10名)	1番 原 田 希 2番 寺 崎 太 彦 3番 橋 本 重 雄 4番 碓 勝 征 5番 松 田 俊 和 6番 岡 光 廣 7番 吉 富 隆 8番 大 川 隆 城 9番 林 眞 敏 10番 中 山 五 雄
欠席議員 (0名)	
地方自治法 第121条の 規定により 説明のため 会議に出席 した者の職 氏名	町 長 武 廣 勇 平 副 町 長 八 谷 伸 治 教育長職務代理者 小 野 清 人 会 計 管 理 者 原 慎 義 幸 教 育 課 長 総 務 課 長 池 田 豪 文 企 画 課 長 北 島 徹 税 務 課 長 白 濱 博 己 住 民 課 長 江 頭 欣 宏 健康福祉課長 岡 義 行 振 興 課 長 兼 江 崎 文 男 農 業 委 員 会 事 務 局 長 生 涯 学 習 課 長 吉 田 淳 文 化 課 長 原 田 大 介
職務のため 出席した 事務局職員	議会事務局長 鶴 田 良 弘 議会事務局係長 石 橋 英 次

議事日程 平成25年12月6日 午前9時30分開会（開議）

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
- 日程第2 会期の決定について
- 日程第3 町長の行政報告
- 日程第4 議案一括上程 提案理由の概要説明
(議案第55号～議案第67号)
(諮問第1号)

午前9時56分 開会

○議長（中山五雄君）

おはようございます。本日は平成25年第4回定例会が招集されましたところ、御多忙の中、御参集いただきましてありがとうございました。

ただいまの出席議員は10名でございます。定足数に達しておりますので、これより平成25年第4回上峰町議会定例会を開会いたします。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議日程は、お手元に配付したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長（中山五雄君）

日程第1. 会議録署名議員の指名について。

会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、6番岡光廣君及び7番吉富隆君を指名いたします。

日程第2 会期の決定について

○議長（中山五雄君）

日程第3. 会期の決定について。

会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は本日より12月13日までの8日間といたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中山五雄君）

異議なしと認めます。よって、会期は8日間と決定いたしました。

日程第3 町長の行政報告

○議長（中山五雄君）

日程第3. 町長の行政報告。

町長の行政報告をお願いします。

○町長（武廣勇平君）

皆様おはようございます。平成25年第4回上峰町議会定例会の開催をお願いしましたところ、議員の皆様には公私とも大変御多用のこととは存じますが、御出席賜り心から御礼申し上げます。

それでは、早速各課順に行政報告をいたします。

まず、総務課でございます。

総務課関係では、11月3日に自治功労表彰式を挙行いたしました。今年度は、功労表彰2名、善行表彰3名及び1団体が受賞されました。町議会議員の皆様を初め多数の御来賓の方に御臨席賜り、厚く御礼を申し上げます。

交通安全関係では、11月20日に交通指導員と交通安全協会役員合同で、町内の危険箇所点検を実施しました。また11月28日には、交通安全協会主催で運転免許保持者講習会が町民センターで開催され、寒い中にもかかわらず多数の参加者がありました。

消防関係では、11月10日に大字堤地区におきまして防災訓練を挙行いたしました。前日の夜間から悪天候となり、ことしも中止しなければならないかと危ぶみましたが、当日の朝は雨もやんで予定どおり実施することができましたので安堵いたしました。訓練に当たりまして御協力くださいました西消防署を初め、地元大字堤地区住民各位、また民生児童委員や防災士の皆様にも多数御支援いただき、大変充実した訓練となりました。御多用のところとは存じますが、訓練状況を見学くださいました町議会議員、消防委員、区長様方、まことにありがとうございました。

11月11日には、中学生による子ども議会が開会されました。登壇された中学生議員の皆さんは上峰町のことをよく調べられておられ毎回感心させられますが、傍聴されたほかの生徒さん方も中学生議員と町執行部のやりとりを熱心に聞き入っておられました。子ども議会終了後、中学生議員から出された要望等を精査し、対応が可能なものについてはできるだけ早く取り組むよう関係各課へ指示したところでございます。

改めて、子ども議会の開会に当たり御尽力くださいました中山議長様を初め議員の皆様方、さらに中学校の先生方に深く感謝を申し上げます。

次に、企画課です。

1. 企画係。企画係では、国際交流で9月22日から24日の日程で大韓民国・驪州市を訪問しました。今回の訪問は、驪州郡が118年ぶりに市に昇格したお祝いと驪州市との新たな交流増進協定を締結することを目的としております。新たに誕生した驪州市がますます発展されることを心から祈念いたしております。

都市公園管理では、台風等による枯れ枝の散乱や側溝の目詰まりが見られましたので、10月18日に鎮西山いこいの森ほかで除去作業を行いました。また、町内の公園内遊具の経年劣

化への対応を関係課で話し合うための会議を10月7日に行いました。具体的には、当初予算による遊具点検予算の確保、補正予算による修繕費用の確保の手順を進めることを確認しました。

企業誘致関連では、10月23日に鳥栖市で開催された東部地区県内企業立地懇話会に参加しました。今回は、懇話会と鳥栖商工会議所との共同開催となっており、貴重な情報交換の場となりました。広報紙づくりでは、町民の皆様に読んでもらえる紙面づくりのため、第2回の庁内会議を10月23日に開催し、意見交換を行っております。

統計では、住宅・土地統計調査の準備に9月から入り、10月に調査を完了しております。また10月には住生活総合調査の準備に入りました。今年度は県統計協会東部地区の代表ということで、11月13日の全国統計大会に職員を派遣しました。

電算の関係では、基幹系システムを断線等の障害から守るため、11月9日に庁舎1階のOAフロアの一部を強靱なものに交換しました。

2. 財政係でございます。財政係では、施設管理の面で、10月4日に婦人の家トイレ修繕を行い、10月30日に前牟田学習等施設の屋根へ登れないように設置してあるはしごを切断し、かわりに用具室に2連はしごを常備しました。また、11月13日から庁舎周りのバラの冬支度のための除草、施肥を行いました。庁舎の防火訓練として、11月20日に実際に119番通報を行う通報訓練を「1階健康福祉課付近で出火した」という想定で行いました。

財務会計関連では、10月上旬に新たなシステムへの更新の検討を開始し、その後、詳細を詰める事務作業を行い、11月28日、29日に職員向けの操作説明会を開催しました。

予算関連では、10月中旬に平成26年度当初予算編成要領を策定し、10月28日の課長会で周知を図りました。また、12月補正予算の要求期限を11月7日に設定し、その後、11月12日に財政査定、13日に副町長査定、15日に私の査定という手順で補正予算案を編成しました。

起債関連では、9月19日に佐賀財務事務所による起債に関する実地検査が行われました。

交付税関連では、普通交付税及び特別交付税関係資料を作成し、県のヒアリングを受けました。中期財政計画では、9月から作成に向けての準備に入り、現在、作業を進めております。

緩衝緑地等協議会の事務局業務としまして、11月5日に緑地幹事会を開催し、平成25年度の予算執行状況について報告、協議を行い、協議会の開催に向けての打ち合わせとしました。緑地内の中央公園の遊具は業者による点検を実施しておりますが、点検による指摘がありましたので、その修繕を発注する入札を11月8日に行いました。また、2号管理区内で一般車両が緑地に進出し、ごみ散乱の要因ともなっているとの指摘により、10月にバリカーを増設いたしました。

住民課。

1. 窓口係。10月末現在の人口は9,617人、去年の同時期と比較しますと75人の増、世帯

数では3,364世帯で67世帯の増となっております。

戸籍電算化事業につきましては、計画どおり本年8月3日に一次稼働を迎え、現在は除籍・改製原戸籍（5,900戸籍）、平成改製原戸籍（3,461戸籍）のイメージ化作業を実施しています。来年5月の事業完了をめどに、遺漏がなきように作業を進めていきます。

また、9月4日には法務省副本データ管理センターとの接続作業が完了し、本町の戸籍副本データは北海道地区に設置されている管理センターに日々オンラインにより保管されており、戸籍の安全な管理が担保されたところです。

平成26年度からは、社会保障・税番号制度に係る作業が始まる等、業務量は増加の一途をたどっているところですが、これまで以上に個人情報の漏えい防止に最善の努力を尽くしながら、なお一層の住民サービス向上に心がけていきます。

2. 子育て支援係。児童手当については、児童手当法第8条第4項により、10月10日に10月定期払い（6月～9月分）として、729名の受給者への支払いを行いました。転入者等に対する申請漏れがないよう努めていきます。

保育事業については、10月末日現在、ひかり保育園79名、ひよこ保育園かみみね120名、広域保育60名、計259名の保育に欠ける児童の保育の実施を行っており、転入等による入所希望者に対しては、随時相談に乗りながら関係機関と協議を行い、入所手続を行っております。

また、新年度の入所申し込みの受け付けを11月から始めており、12月27日までの期間と定め、広報紙や上峰町ポータルサイトでお知らせをしております。

次に、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援制度が平成27年度から実施されることに伴い、合議機関として9月議会で条例可決されました上峰町子ども・子育て会議の第1回目を10月28日に開催いたしました。委員につきましては、学識経験者、関係団体から推薦を受けた者、公募による者等14人で組織されています。

今後、会議を重ねながらニーズ調査を行い、保護者の子育てに関する悩みや不安等の現状を把握し、調査結果を受け、審議しながら本町における子ども・子育て支援事業計画を定めていきます。

3. 環境係。9月18日から10月17日までの1カ月間、毎年全国一斉に実施されております不法投棄防止強化月間に合わせ、不法投棄防止ポスターの掲示を区長各位に依頼しました。また、職員で巡回監視活動を実施し、パトロールを強化しました。特に生活ごみやポイ捨てごみ、粗大ごみ等の回収を行い、不法投棄禁止看板の設置を行いました。

次に、鳥越・屋形原地区から要望が上がっておりました町道高速道路側道線沿いのカルバートボックス内における不法投棄対策として、佐賀県循環型社会推進課から不法投棄監視カメラを借用し、11月15日に設置いたしました。今後、関係機関と連絡をとりながら不法投棄の監視を強化していきます。

広報紙等でお知らせしておりました井戸水の水質検査を、11月7日、8日の2日間、希望される家庭を対象に実施しました。昨年度より27件多い73件の申し込みがあり、検査結果については各世帯に郵送し、お知らせいたしております。

次に、健康福祉課でございます。

1. 健康増進係。全国的な風疹の流行により、7月から予防接種の助成を実施しておりますが、10月現在、34名の方が申請しておられます。

生後4カ月までの全戸訪問事業を65名の赤ちゃんに実施しており、今後も子育て支援を行い、少子化対策と小児虐待対策に努めていきたいと思っております。

小児用肺炎球菌の予防接種が11月より7価から13価ワクチンになり、対象者が混乱しないように広報紙により周知を図っております。

国保特定健診で10月末現在、集団健診578名、個別健診19名の方が受診されておられますが、今後も個別健診の受診勧奨や受診者の結果説明を行い、生活習慣病の予防、医療費の抑制等を図っていききたいと思っております。

また、今後、再度漏れ者を対象に集団健診を計画したいと考えております。

2. 保険年金係。国民健康保険被保険者数は、平成25年度当初から9月末までの増減につきましては、転入・社保離脱等で230名の増、転出・社保加入等で200名の減、合計で30名の増加となり、9月末現在で1,082世帯1,904名（前年度同期1,092世帯1,941名）になっております。

なお、9月末現在で短期被保険者証交付件数は65世帯130名（対前年度同期65世帯118名）であります。

また、後期高齢者医療被保険者数は、平成25年度当初から9月末までの増減につきましては7名の減少となり、9月末現在で1,066名（対前年度同期1,062名）になっております。

3. 福祉介護係。社会福祉関係では、生活保護のこし4月から10月までの動きで役場での相談が5世帯（8人）あり、そのうち1世帯（1人）認定されております。また、1世帯（3名）が転入、2世帯（3名）が認定廃止になっております。

なお、平成24年度末での生活保護世帯は、37世帯55人でありましたが、平成25年10月末現在では37世帯56人になっております。

高齢者福祉関係では、9月15日、日曜日に町民センターで上峰町敬老会を開催し、約200名の方の出席があり、町金婚祝18組、内閣総理大臣の百歳祝2名及び町の最高齢祝（105歳）の方々を披露しお祝いをいたしました。

当日、来賓として御臨席いただきました議員の皆様、区長の皆様、ほか多数の来賓の皆様、また受付等のお世話をさせていただきました民生児童委員の皆様、お抹茶サービスをしていただきました皆様、まことにありがとうございました。

長寿祝い金を9月17日から19日に庁舎内で支給いたしました。白寿（満99歳）祝として35

千円を3名、米寿（満88歳）祝として25千円を29名、喜寿（満77歳）祝として15千円を83名、古希（満70歳）祝として8千円を85名の方々に支給しました。

11月10日に上峰町消防団防災訓練が大字堤地区であり、訓練の一環として要援護者避難誘導訓練を農村婦人の家で行い、保健師によるバイタルチェックを実施し、大字堤地区の要援護者9名の参加がありました。

昨年も実施しましたが、今年度も、のらんかいバスの利用料について、9月中は65歳以上の方を無料にし、649名（前年度603名）の方が利用されました。

続きまして、税務課でございます。

1. 課税係。平成25年度10月末現在の町税額については、7月末現在（前回報告額）と比較して、94,696千円増の1,267,856千円となっております。

個人町民税額は381,878千円で、前回報告額と比較して2,555千円の増額となっております。退職所得関係、本人からの確定申告や修正申告等により増額しております。

法人町民税額は114,253千円で、前回報告額と比較して72,361千円の増額です。前年同期と比較しても39,451千円（前年同期74,802千円）の増額となっており、町内大手企業の業績向上により中間申告の増額が最も影響しているようです。全体として今後も増収が期待される状況の中、景気の動向、金融緩和の推移等を見きわめ、今後の申告状況に注視していきたいと思っております。

固定資産税額は705,906千円で、前回報告額と比較して704千円の増額となっております。未申告法人の償却資産申告の追徴課税により増額したものであります。

軽自動車税額は22,801千円で、前回報告額と比較して4千円の減額となっております。軽貨物自動車1台の税更正によるものです。

たばこ税額は42,457千円で、前回報告額と比較して18,892千円の増額となっておりますが、前年同期と比較しても3,786千円（前年同期38,671千円）の増額となっている状況です。ことし4月からのたばこ税の税源移譲（県分からの移譲）が、このような増収結果として影響していることと思われま。

入湯税額は561千円で、前回報告額と比較して188千円の増額となっております。前年同期と比較すると13千円（前年同期548千円）の増額となっており、前年並みに推移してきています。

課税に関しましては、昨年に引き続き個人住民税を特別徴収事業者として給料から天引きしていただくよう、11月6日に未実施の普通徴収事業者98件に対して通知を出して、平成26年度からの実施を強く勧告しました。

また、固定資産評価関係については、平成27年度の評価がえに向けて、不動産鑑定評価（町内標準地45地点）調査を、佐賀県不動産鑑定士協会に9月9日業務委託しました。年度末に提出される評価額をベースとして、来年度中に評価がえの事務作業を行う計画であります。

年末年始にかけては、確定申告の準備に取りかかるとともに、税務署と連携を図りながら、課税の適正化に努めてまいりたいと考えております。

2. 収納係。平成25年度10月末現在、現年課税分についての収納率は、個人町民税56.2%（前年同期56.4%）、法人町民税97.9%（前年同期99.4%）、固定資産税65.6%（前年同期65.3%）、軽自動車税96.4%（前年同期96.7%）となっています。全体では65.4%（前年同期63.9%）で前年比1.5%の増加となっております。

徴収対策では、軽自動車税関係で9月12日に滞納者100人に催告兼タイヤロック予告書を出して納期内納付を強く促し、収納効果（48人納付）を挙げました。

また、滞納整理機構の構成市町での一斉取り組みとして、10月21日に給与差押予告通知を113件発送しました。10月末期限で半数以上の方が収納され（収納率は38.61%）、その後、連絡された方14人には納税相談等を実施した上で、納付誓約を取り分納をされています。さらに、残り27人の勤務先に給与照会をかけ、今後の反応を見て、差し押さえ可能な方については給与差し押さえ、または口座預金調査の上で預金差し押さえを実施するようにしています。

また、12月中旬には現年課税及び滞納繰越分合わせて約200名（分納者除く）に一斉催告書を発送して年内期限をもって折衝し、年明けに反応状況により随時、勤務先、金融機関、自宅、事業所等への財産調査を行い、財産が見つければ差し押さえをして滞納整理につなげていきたいと思っております。

最後に、年末にかけては広報車での周知活動等を行い、今後とも徴収対策になお一層努めてまいりたいと考えております。

続いて、振興課でございます。

1. 建設係。建設係所管の工事等の概要につきまして報告いたします。

まず、下津毛団地及び切通団地内の側溝整備につきましては、第1期工事の発注を行い、その工事状況を見まして、第2期分の工事を発注したところでございます。周辺住民の皆様には、いろいろな面で御迷惑をおかけしておりますが、この事業の趣旨を御理解の上、御協力のほどを今しばらくお願い申し上げます。

次に、舗装工事でございますが、中学校東側交差点のカラー舗装、町民センター北側の町道の舗装につきましては11月に完了いたしました。また、昨年度からの継続事業として取りかかっております町道堤2号線と町道中村中央線の舗装工事につきましては、11月に発注をいたしました。さらに、今年度より特定防衛施設周辺整備調整交付金で行います町道八枚坊所新村線の舗装工事につきましては、現在、舗装構成の土質試験を行っております。

交通安全対策でございますが、勘太郎川上流のガードレールの設置工事につきましては10月に完了し、今後は町道の路面性状況調査などの委託事業を発注してまいります。

最後に災害関係でございますが、公共土木施設災害関係では、7月豪雨に伴います鳥越川

左岸ののり落ち被害の復旧工事の予算を、農業用施設災害といたしまして農業用施設の小規模災害の復旧予算を今議会に提案しております。

2. 管理係。坊所処理区の機能強化事業につきましては、処理施設増設分の基礎くい及び仮設工事が終わり、水槽部本体工事に着手しており、9月議会にて契約の議決をいただきました電気機械設備工事につきましては、機器の製作を行っております。また、管路施設につきましては、管路埋設及び中継ポンプ工事を10月に発注しました。

平成23年度からの継続事業でありました住宅リフォーム緊急助成事業は、今年度をもって終了となり、10月で事業が完了しました。3年間で計173戸、リフォームに要しました総費用約238,000千円に対し、32,260千円の助成金を申請者に交付しました。事業に対する利用者の満足度は良好で、住環境の快適性向上や地域の経済対策面などで大きな効果があったものと思います。

3. 産業商工係。上峰町の農業を取り巻く諸情勢に積極的に対応し、農業経営の安定と営農意欲の向上を図り、担い手の育成を推進し、地域農業の振興に寄与するために今年度設置しました上峰町農業振興対策協議会を10月に開催し、9名の委員の方々へ委嘱状を授与し、1回目の会議を行いました。

今年度、上峰むらの農産物直売所が事業主体となり、総務省の過疎集落等再生緊急対策事業の補助金による特色ある農産物の生産拡大やブランド化の取り組み、加工品開発、安全・安心な施設の改修等を行い、地域の活性化を図る目的で上峰むらの再生自立事業を展開していきます。

平成24年度から三養基西部土地改良区を事業主体で展開しています農業基盤整備促進事業（フォアス事業）につきましては、南部地区の昨年度の残りの面積を行っております。また、来年度予定しております北部地区と、町が事業主体で行います碓地区につきましては、割り当て内示に対する補助金交付申請をそれぞれ行ったところです。

教育課。

9月7日に、中学校体育大会を開催いたしました。あいにく、雨の影響でプログラムの変更を余儀なくさせられましたが、多数の保護者、来賓の出席のもと、「大地を轟かせ 天空をかける」をスローガンに元気に競い合い、演技をすることができました。

10月16日には、三養基地区中体連新人大会が郡内各地で開催されました。上峰中学校は、サッカー、軟式野球、卓球女子、バレーボール男子（社会体育）で優勝、バスケットボール男子、ソフトテニス女子で準優勝など好成績をおさめました。

10月18日には、今年度2回目のオープンスクールを実施しました。1日のみの開催ではありませんでしたが100名を超える保護者、地域の方々に参観していただきました。その日の午後には、3年生、2年生とその保護者を対象に高校説明会を実施しました。今回、三神・鳥栖地区の5校から入試制度を初め、教育方針、設置学科などの説明が行われました。生徒たちも

多くの情報を収集できたと思います。今回、オープンスクールに足を運んでいただいた保護者、地域の皆様にお礼を申し上げます。

10月24日には、三養基地区中学校英語暗唱大会が開催され、上峰中は3年生の部で優勝、1年生の部で3位と好成績をおさめ、優勝者が県大会への出場を決めました。

11月11日には、議会の御協力を得て、子ども議会を開催していただきました。中学生8人が議員となり執行部への質問を行いました。生徒の感想は、総合学習で学んだことを発表でき、なおかつ町執行部の方にも真剣に答弁をいただき、本当の議会のように感じた満足してもらえました。

小学校では、10月6日に体育大会を実施しました。当日は、台風が進路を変え、秋晴れの絶好の天気となった中、たくさんの保護者、来賓の方々に元気な児童による競技、演技が繰り広げられました。また、小学校の安全施設のフェンス工事も体育大会前に完成し、保護者の皆さんにお披露目ことができました。

10月10日、11日、15日の3日間、中学校一日体験入学を中学校と協力して実施しました。これは、私立中学校や中高一貫の県立中学校への進学が盛んになり、小学校での進路指導が必要になったからです。そこで、小学校6年生の皆さんに地元中学校のよさを知らせるとともに、学習や生活の一端を体験してもらい、中1ギャップの解消の一助になればと企画しています。体験授業では、理科、数学、技術、英語の4教科を実施し、グループによる学習、中学3年生との交流なども行い、6年生は来年4月の入学を楽しみにしています。

11月8日には、来年の新就学予定幼児120名を対象に就学前健康診断を実施しました。内科、歯科、視力等の検査の後、制服等の採寸を行いました。

生涯学習課。

1. 生涯学習係。11月1日から3日まで第28回上峰町民文化祭を町民センターで開催いたしました。作品展示には、絵画、写真、書、生け花、編み物やアートフラワーなど約640点の作品を出展いただきました。力作ぞろいの作品展示に、観覧された多くの皆様から称賛の声をいただいたところです。3日の演芸発表の部においては、43団体延べ570名の方々が熱演されました。当日は秋雨が降り続く寒い一日でしたが、町内外より多くの皆様に御来場いただき大盛況のうちに終了することができました。主催いただきました上峰町文化協会の皆様に感謝申し上げますとともに、ますますの御発展を祈念いたします。

11月27日に青少年健全育成大会を町民センターで開催いたしました。小・中学生を対象に、講師に総務省出身の山口祥義氏をお招きし、「上峰町の将来に向けて」と題した講演と、小・中学生とのディスカッションを繰り広げていただきました。上峰町の活性化について、地域振興ディレクターのお立場から子供たちにふるさと上峰を意識させる講演会を行っていただきました。

2. 生涯スポーツ係。町民体力づくり体育大会を10月13日に上峰町中央公園多目的広場に

て実施いたしました。当日は晴天にも恵まれ、町民の皆様の健康づくりと親睦を図る場として秋の一日を楽しんでいただきました。大会運営に御協力いただきました関係各位並びに町民の皆様に厚く御礼を申し上げます。

翌週19日、20日には第66回県民体育大会が、唐津市、玄海町、伊万里市、有田町を主会場として開催されました。本町からは、10競技16種目に選手、役員211名が参加されました。各所で熱戦が繰り広げられるとともに、今回初参加のソフトボール一般女子がAパート第3位を勝ち取られました。総合順位では劣勢を覆すことはできませんでしたが、競技全般にわたり成果と団結を見出すことができたものと感じました。日ごろより研さんを積まれている選手、役員の皆様のますますの御活躍を祈念いたします。

文化課。

埋蔵文化財関係では、さきの9月定例議会以降、町内各地区で9件の埋蔵文化財確認調査を実施し、開発と埋蔵文化財保護との調整を図りました。

11月14日には、全国史跡整備市町村協議会臨時大会に出席し、同臨時大会に出席の県及び県内市町関係者とともに佐賀県選出衆・参国会議員各位へ、文化庁の平成26年度文化財関係予算獲得に向けた御協力をお願いする要望活動を行いました。その後、同臨時大会に来賓として御出席の文化庁文化財部、榎本記念物課長並びに桂主任文化財調査官に面会、7月の要望活動に引き続き、太古木保存地区の公有化に当たり文化庁の御指導、御協力について重ねて要望を行いました。

民俗文化財関連では、10月26日、27日の両日、台風一過の秋晴れのもと、米多浮立が保存会を中心に大字前牟田地区の皆様によって奉納されました。これに先立ち、町ではポスター、記念缶バッジを作成し、カミング！上峰を通した情報発信を行うなど広報活動にも努めました。また、10月19日、20日には、大字江迎地区の皆様によって西の宮八幡宮の浮立が奉納されました。本年は浮立を碓・中村・江迎地区の皆様が、稚児舞を江越・八枚地区の皆様がそれぞれ担当されました。練習から奉納まで伝統文化の継承に尽力いただきました両浮立の関係者の皆様へ敬意を表し、深く感謝を申し上げます。

11月27日には、青少年健全育成大会に講師として来町された山口祥義氏に大字前牟田地区を御視察いただき、米多浮立を軸とした地区の浮揚、活性化に向けた取り組みについて御指導いただきました。

図書館関係では、9月議会の行政報告でもお知らせしましたとおり、11月15日、図書館利用者25万人を達成することができました。ありがとうございます。25万人目の利用者は、日ごろから御家族皆様でよく図書館を御利用いただいている下坊所在住の女子中学生で、11月24日、記念品を贈呈しました。

11月の子ども議会において中学生議員からも御指摘いただきましたが、図書館では利用者増を目指して、今後も一人でも多くの町民の皆様に気軽に図書館を利用していただけよう

な環境づくりに努めていきたいと考えております。

以上で行政報告を終わらせていただきます。

○議長（中山五雄君）

これで町長の行政報告は終わりました。

日程第4 議案一括上程 提案理由の概要説明

○議長（中山五雄君）

日程第4. 議案一括上程、提案理由の概要説明。

議案一括上程、提案理由の概要説明を求めます。

○町長（武廣勇平君）

議案の提案をさせていただきます。

まず、議案第55号 上峰町課設置条例の一部を改正する条例でございます。

議員各位からも御指摘をいただきました振興課の業務量等につきまして、執行部内で検討を加えまして、現在の振興課を建設課と産業課に分離することで取りまとめましたので、本条例の一部を改正するものでございます。

平成25年12月6日提出、上峰町長武廣勇平。

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、議案第56号 上峰町いじめ等問題行動対策委員会設置条例。

いじめ防止対策推進法の制定に伴い、新たに条例を設けるものでございます。

平成25年12月6日提出、上峰町長武廣勇平。

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、議案第57号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例。

これは議案第56号に規定する上峰町いじめ等問題行動対策委員会等の委員に対する費用弁償を設けるために、本条例の一部を改正するものでございます。

平成25年12月6日提出、上峰町長武廣勇平。

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、議案第58号でございます。上峰町地域の元気臨時交付金基金条例。

平成25年度の地域の元気臨時交付金の交付を受けるに当たり、平成26年度に実施を予定する事業に交付金を充てるため、新たに基金条例を設けるものでございます。

平成25年12月6日提出、上峰町長武廣勇平。

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、議案第59号でございます。上峰町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例。

子どもの医療費について助成の対象範囲を拡充するために、本条例の一部を改正するもの

でございます。

平成25年12月6日提出、上峰町長武廣勇平。

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、議案第60号 上峰町子どもの医療費の助成基金条例。

これは子どもの医療費助成の拡充に当たって、特定防衛施設周辺整備調整交付金を財源に充てるため、新たに基金条例を設けるものでございます。

平成25年12月6日提出、上峰町長武廣勇平。

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、議案第61号 上峰町高齢者に対するあん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅう等の施術についての給付条例。

65歳以上の高齢者を対象として、あん摩等の施術について給付するために、新たに条例を設けるものでございます。

平成25年12月6日提出、上峰町長武廣勇平。

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、議案第62号 上峰町都市計画審議会条例の一部を改正する条例。

機構改革により課の統合を行いました際、各課の所掌事務について見直しを図りました。そのときに、関係する条例、規則等を改正しましたが、本条例も改正すべきところを漏らしておりましたので、今議会で上程いたします。大変申しわけなく、おわび申し上げます。

平成25年12月6日提出、上峰町長武廣勇平。

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、

議案第63号

平成25年度上峰町一般会計補正予算（第5号）

平成25年度上峰町一般会計補正予算（第5号）は次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ146,357千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,950,049千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

（繰越明許費）

第2条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第213号第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表繰越明許費」による。

平成25年12月6日 提出

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、

議案第64号

平成25年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

平成25年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ911千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,055,260千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

平成25年12月6日 提 出

上峰町長 武 廣 勇 平

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、

議案第65号

平成25年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算（第2号）

平成25年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,800千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ778,763千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

平成25年12月6日 提 出

上峰町長 武 廣 勇 平

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、議案第66号 鳥栖・三養基地区障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更に係る協議について。

障害者自立支援法が障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、障害

者総合支援法へ変更になったことにより、認定審査会を共同設置する市町議会の議決が必要であるため、本議案を提出するものでございます。

平成25年12月6日提出、上峰町長武廣勇平。

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、議案第67号 鳥栖・三養基地区消防事務組合同規約の変更に係る協議について。

消防事務組合を構成する市町の負担金について、平成26年度から前年度の基準財政需要額等の確定額で支出することで規約の変更をするために、構成市町議会の議決が必要でありますので、本議案を提出するものでございます。

平成25年12月6日提出、上峰町長武廣勇平。

後ほど主管課長より補足説明をいたします。

続きまして、諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について。

前委員の矢動丸勝彦氏が健康上の理由から任期中に辞任されましたので、後任として久米礒馬氏の推薦をお願いするものでございます。

諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦について

下記の者を人権擁護委員の候補者として推薦したいので、人権擁護委員法（昭和24年法律第139号）第6条第3項の規定により、議会の意見を求める。

記

住 所 佐賀県三養基郡上峰町大字堤1891番地の2

氏 名 久 米 礒 馬

生年月日 昭和19年12月3日

平成25年12月6日提出

上峰町長 武 廣 勇 平

以上、13議案と諮問1件、一括して提案させていただきます。

議案発送後に一部差しかえをいたしましたことを心からおわびを申し上げ、よろしく御審議のほどをお願いいたします。

○議長（中山五雄君）

ただいま町長より13議案と1諮問が一括上程されました。これから補足説明を求めます。補足説明はありませんか。

○総務課長（池田豪文君）

皆様おはようございます。私のほうから議案第55号、議案第57号、議案第67号につきまして補足説明を申し上げます。

まず初めに、議案第55号 上峰町課設置条例の一部を改正する条例でございますが、平成21年度から22年度にかけて役場の組織の見直しを図りまして、一部、課の統廃合を行い、平成23年度より現在の組織体制といたしております。

議員各位からも御指摘いただいておりますように、統合した課の振興課と健康福祉課、その中でも特に振興課産業商工係につきまして、農政関係の新規事業等の業務量が増大しておりますことから、現在の体制のままでは課長が課内の4係を掌握していくにも限界がございます。振興課を建設課と産業課の2課に分離することで、本条例の改正をお願いするものでございます。

議案第55号の新旧対照表をごらんいただきたいと思っております。

まず、第1条でございますが、地方自治法（昭和22年法律第67号）第158条の「第7項」の規定に基づきとありますのを「第1項」の規定に基づきということで改めるものでございます。これは地方自治法の改正が行われておりまして、それを準用するものでございます。

そして、その次に「6課」を置くとしておりますのを「7課」を置くに改めるものでございます。

その下段でございますが、アンダーラインを引いている部分を申し上げます。

「振興課」を「建設課」と「産業課」に第1条のところで分離をしております。

その下段で第2条関係でございますが、これは課の分離にかかわることではございませんが、住民課関係で、第2号で「保育所、幼稚園に関する事項」としておりますのを幼稚園に関しまして住民課の所掌事務としては、就園奨励費に関することのみでございますので、その括弧書きの注釈を今回入れさせていただいたところでございます。

その表の一番下のところでございますが、「振興課」を「建設課」に改めるものでございます。

次の裏面をごらんいただきたいと思っております。

右側が改正前でございます、現行でございますけれども、(1)から(12)まで今の振興課の所掌事務を掲げておりますが、左側のほうをごらんいただきますと、建設課が(1)から(8)まで、その下に産業課ということで(1)から(4)まで、一字一句は省略させていただきますけれども、そういったことで、今現在の振興課の所掌事務も建設課と、それから産業課に区分するものでございます。

続きまして、添付資料といたしまして、議案第55号に添付したもので、課の設置条例の一部改正に伴いましたところで、規則、規程等、要綱、そういったものを改正する必要がございますので、その分の資料をあわせて添付させていただいております。

まず、規則でございますが、上峰町出納員等に関する規則の一部を改正する規則。これは総務課がその規則の管轄になっております。

それで新旧対照表をごらんいただきますと、右側の現行、別表第1の出納員設置箇所の3

段目でございますが、「振興課」ということにしております、職名が「振興課長」でございますが、左のほうをごらんいただきますと、「建設課」「建設課長」、「産業課」「産業課長」ということで改めるものでございます。

その下段の別表第2でございますが、右側のほうでは「振興課に所属する分任出納員の区分」、左側につきましては「建設課に所属する分任出納員の区分」で、右の委任の対象となる事務は同様でございますけれども、その下段の「産業課に所属する分任出納員の区分」で、「家庭菜園使用料、その他の収納に関すること。」ということで、新たに産業課の所掌事務として加えております。

それから、次に、上峰町農業振興対策協議会設置規則の一部を改正する規則でございますが、これは現在でいいますと振興課の所掌事務になりまして、その裏面に新旧対照表を掲げております。右のほうが改正前でございますが、この協議会の所掌事務をどこで行うかということで第9条で明示しておりますけれども、現在は「振興課に置く。」としておりますが、左側の改正後につきましては「産業課に置く。」ということで改めているものでございます。

続きまして、上峰町住宅運営委員会規則の一部を改正する規則でございますけれども、これも委員会の所掌事務の関係でございますが、裏面をごらんいただきますと、委員会の庶務は右側でいいますと、現行では「振興課で処理する。」ということにしておりますが、改正後、左側のほうでは「建設課で処理する。」ということで改めていくものでございます。

それから、次に、規程関係でございますけれども、上峰町役場処務規程の一部を改正する規程（案）ということでお示ししておりますが、別に新旧対照表を用意させていただいております、右側の課の設置に関しますところの第2条でございますが、住民課「窓口係」と現行でしておりますけれども、今回、課の分離に伴いますところで、窓口係というのは一般の住民の方たちになかなかわかりにくい、そういったことを勘案しまして、左のほうでは「住民記録係」に今回改めていこうということで、係の名称を変更するものでございます。

それから、振興課の今、建設係と管理係と産業商工係とございますが、その「産業商工係」につきましては、左側のほうを見ていただきますと、「建設課」ということで建設課と管理係は係の名称は変更ございませんが、下段の「産業課」と「産業係」を新たに設けるものでございます。

続きまして、2ページ、3ページ、4ページ、5ページは変更ございませんで、6ページ目をごらんいただきたいと思っております。

6ページの下段の表でございますが、右側は改正前、左側は改正後ということで御理解いただきたいと思っております。

係の名称といたしまして、今し方申し上げましたように、「窓口係」を左側では「住民記録係」ということで改めるものでございます。

それから、アンダーラインを引いている部分につきましては、この機会に所掌事務の精査

を行いまして、そして左側のほうに変更するものでございます。

7ページ目の部分もそのように御理解いただきたいと思います。例えば子育て支援係でいますと、以前は「乳幼児医療」ということで申し上げていましたけれども、現在、「子どもの医療」ということになっておりますので、そういったことを今回あわせまして修正を加えさせていただくものでございます。

8ページ、9ページは変更ございませんで、10ページも変更ございませんで、11ページをごらんいただきたいと思います。

11ページの右側の課の名称につきまして、「振興課」としておりますが、左側のほうでは「建設課」ということで書いております。

同じく下段の、次のページまでまたがりますけれども、「産業商工係」といいますのを「産業係」、それに新たに「産業課」を設けまして、そして今現在、振興課で建設係、管理係、産業商工係で所掌しております産業商工係の所掌事務につきまして左側の表でいいますと、「産業係」のほうで所掌すると、そういったことに区分するものでございます。

13ページをごらんいただきますと、これは発刊の文書番号をとるものでございまして、右側の別表第2で申し上げますと、6段目の「窓口係」で施行する文書ということで、「上窓」ということで書いておりますが、左のほうでは「住民記録係」で施行するということで、「上住」ということで変更するものでございます。

次のページ、14ページをごらんいただきたいと思います。

14ページにつきましては、「産業商工係」を左側の表をごらんいただきますと、「産業係」ということで、下段にもう1つ加えまして、「上農第 号」ということを新たに設けるものでございます。これは農業委員会関係の発刊番号ということで御理解いただければと思います。

続きまして、上峰町役場決裁規程の一部を改正する規程（案）をごらんいただきたいと思っております。

次のページをごらんいただきますと、新旧対照表を掲げております。

現行では振興課長の所掌する決裁で(1)から(8)まで設けておりますが、左のほうで7番としまして、建設課長が(1)から(6)まで、それと新たに8番としまして産業課長を設けまして(1)から(6)まで設けたところでございます。

それから、公印規程をごらんいただきたいと思っております。上峰町公印規程の一部を改正する規程でございますが、裏面をごらんいただきたいと思っております。

表を掲げておりますが、この中で管守者ということで、管理する者が誰かということを示しておりますが、4段目でございます。「振興課長」を左側のほうでは「建設課長」、それとあと下段のほうでございますが、下から2行目、職務代理者の印鑑でございますけれども、電子公印につきまして、「振興課長」を「建設課長」ということで変えるものでござい

ます。

最後に、上峰町建設工事等入札者指名審査委員会要綱の一部を改正する要綱（案）でございますけれども、この分につきましては企画課が所管しておりますが、裏面をごらんいただきたいと思っております。新旧対照表を掲載しております。

委員会の組織といたしまして、第2条に掲げておりますが、今現在、委員会につきましては、委員長が副町長、委員が総務課長、企画課長、振興課長ということで構成されております。それが左側の改正後をごらんいただきますと、委員として総務課長、企画課長、それに建設課長と産業課長ということで構成を変えるようになります。

以上、資料について申し上げましたが、条例の改正をお認めいただきますと、これらの規則、規程につきましても今後改正していくということになりますので、今のところで言いますと、案ということでお示しをさせていただいたところでございます。

続きまして、議案第57号の補足説明に移らせていただきます。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例でございますが、本議会に上程いたしております議案第56号の上峰町いじめ等問題行動対策委員会設置条例に規定しております各委員さんの費用弁償につきまして、今回、加える必要がございますので、提案をさせていただいたところでございます。

まず、上峰町いじめ等問題行動対策委員、これは1回当たり5千円、それに上峰町立学校いじめ防止対策委員、1回当たり1千円ということで、次の新旧対照表をごらんいただきますと、その別表に上峰町子ども・子育て会議委員というのが今の現行では一番末尾になっております。その後、この2件につきまして加えまして改正をお願いするものでございます。

ちなみに、上峰町いじめ等問題行動対策委員の方々といたしますと、弁護士の方、それに学識経験者、警察、臨床心理士、そういった方たちが当たられるというふうになります。

それから、次に、学校いじめ防止対策委員さんといいますと、校長、PTA、それにスクールカウンセラー、そういった方がその任に当たられるように規定されております。

次に、最後でございますが、議案第67号 鳥栖・三養基地区消防事務組合規約の変更に係る協議につきましても補足説明を申し上げます。

現在、鳥栖・三養基地区消防事務組合の構成市町の負担金につきましては、当該年度の消防費に係る基準財政需要額等の確定値で負担しておりますが、当該年度の単位費用の確定につきましても3月ごろ、それに補正後の人口の確定が当該年度7月ごろとなっております、年度途中で補正いたしまして負担金を支出しております。構成市町と消防事務組合ともに安定的で計画的な財政運営を図る目的といたしまして、平成26年度からは前年度の基準財政需要額等の確定額で負担金を支出するようにすることで、今回、組合の規約の変更をお願いするものでございます。

最後に、議案送付後、一部の議案につきまして差しかえをお願いしたことを大変おわび申

し上げます。今後につきましてはミスがなきように、幾重にもチェックに努める所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。また、よろしく御審議のほどお願い申し上げます。私からの補足説明は終わらせていただきます。

○議長（中山五雄君）

ほかに補足説明はありませんか。

○教育長職務代理者教育課長（小野清人君）

おはようございます。私のほうからは議案第56号の補足説明をさせていただきます。

国が本年6月28日で、いじめ防止対策推進法を公布されました。この法律は、いじめを受けた児童・生徒の教育を受ける権利を侵害し、生命または身体に重大な危険を生じさせるおそれがあることにかんがみ、児童・生徒の尊厳を維持するため、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進することを目的としております。この法律の第28条に、学校の設置者はいじめにより児童・生徒の生命、心身、または財産に重大な被害が生じた疑いがあるときや、いじめにより相当期間学校を欠席することを余儀なくされているという疑いがあるときなど、重大事態に対処するため、組織を設け、適切な方法により事実関係を明確にするなどの調査を行うものとなっています。

この調査を行うために、今回上程しました上峰町いじめ等問題行動対策委員会を設置するものであります。この委員会は、第2条にありますように、いじめ等問題行動の実態把握及び分析やいじめ問題行動対策を推進するため、必要な事項を調査、審議するものであります。

委員といたしましては、第3条にありますように、弁護士、学識経験者、臨床心理士、警察関係者、また教育委員会が適当と認める者の5人以内を予定しております。この委員の費用弁償に関することで、議案第57号で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、また議案第63号でこの関係の補正予算をお願いしております。よろしく御審議のほどお願いします。

○議長（中山五雄君）

ほかに補足説明はありませんか。

○企画課長（北島 徹君）

皆さんおはようございます。それでは、私のほうからは議案第58号及び議案第63号につきまして、補足説明をさせていただきます。

まず、議案第58号 上峰町地域の元気臨時交付金基金条例でございます。この条例は、国から交付される地域の元気臨時交付金の一部を基金に積み立て、平成26年度に取り崩しを行い、地域経済の活性化等のために事業を実施するというためのものでございます。

また、この条例は設置の趣旨によりまして、平成26年度末、平成27年3月31日に執行するというを附則において規定をいたしております。

以上、議案第58号の説明でございました。

続きまして、議案第63号 平成25年度上峰町の一般会計補正予算（第5号）でございます。

予算書のほうの準備をお願いいたします。平成25年度上峰町一般会計補正予算（第5号）ということで、1ページのほうに掲げております。

それでは、2ページ、3ページのところに参りますので、2ページをごらんいただきたいと思っております。

第1表の歳入歳出予算補正のところを歳入歳出それぞれ、左の款の列と、それから右の方向に向かしまして、補正額の列、計ということで読み上げさせていただきます。

款の1. 町税、補正額53,101千円、計1,291,823千円。

款の11. 分担金及び負担金、補正額4,731千円、計67,373千円。

款の13. 国庫支出金、補正額106,966千円、計447,887千円。

款の14. 国有提供施設所在市町村助成交付金、補正額2,080千円、計7,901千円。

款の15. 県支出金、補正額11,118千円、計232,693千円。

款の17. 寄附金、補正額35千円、計670千円。

款の18. 繰入金、補正額△30,615千円、計120,716千円。

続きまして、款の20. 諸収入、補正額△1,059千円、計43,959千円。

歳入合計146,357千円、計3,950,049千円でございます。

続きまして、4ページ、5ページをお願いいたします。

歳出のほうに参ります。

款の1. 議会費、補正額10千円、計78,404千円。

款の2. 総務費、補正額50,380千円、計542,504千円。

款の3. 民生費、補正額27,584千円、計953,709千円。

款の4. 衛生費、補正額11,256千円、計578,622千円。

款の6. 農林水産業費、補正額38,983千円、計375,975千円。

款の8. 土木費、補正額19,803千円、計135,514千円。

5ページのほうに参ります。

款の9. 消防費、補正額△5,013千円、計162,993千円。

款の10. 教育費、補正額3,520千円、計333,865千円。

款の11. 災害復旧費、補正額2,500千円、計2,520千円。

款の12. 公債費、補正額△2,666千円、計752,663千円。

歳出合計、補正額146,357千円、計3,950,049千円でございます。

それでは、続きまして6ページをお願いいたします。

6ページ、第2表 繰越明許費でございます。

まず、款の3の民生費、項の1の児童福祉費、これにつきましては事業名が子ども子育て支援システム構築ということになっております。金額が9,396千円、安心こども基金特別対

策事業として取り組んでまいるのでございます。

続きまして、款の6. 農林水産業費、項の2. 農業費、事業といたしましては碓地区暗渠排水整備でございます。39,100千円でございます。これにつきましては、農業基盤整備促進事業として取り組んでまいるのでございます。

続きまして、説明書の中のほうに入っております。主なものを御説明申し上げたいと思います。

説明書の中の3ページをお願いいたします。

まず歳入でございますが、3ページ、歳入、款の1. 町税、項の2. 固定資産税、目の1. 固定資産税、節1. 現年課税48,505千円でございます。これは本年の9月末日の固定資産税調定額に基づきまして、本年度1年間の税収というものを再計算しまして、それで出た結果によりまして増額をいたしているところでございます。

続きまして、すぐ下の同じ款の1. 町税、項の4. たばこ税、目の1. たばこ税、節の1. 現年課税4,596千円。これにつきましても、本年9月末までのたばこ税の申告額に基づき、本年度1年間の税収というものを再計算いたしまして、結果によりまして増額をいたしているところでございます。

それから、すぐ下の款の11. 分担金及び負担金、項の2. 負担金、目の1. 民生費負担金、節の1. 児童福祉費負担金4,731千円、保育所入所負担金でございます。これは保育所に児童を入所させておられます保護者からいただきます保育料でございます。入所児童の増加に伴いまして増額をいたしております。

それでは続きまして、4ページをごらんいただきたいと思います。

5ページの下の方でございます。款の13. 国庫支出金、項の2. 国庫補助金、目の4. 総務費国庫補助金、節の4. 地域の元気臨時交付金75,877千円でございます。これにつきましては、国からの第2次交付金の決定というものがございましたので、今回計上をさせていただいております。

続きまして、すぐ下の同じ13. 国庫支出金、項の2. 国庫補助金、目の8. 農林水産業費国庫補助金、節の1. 農業費補助金27,150千円でございます。これは碓地区において実施を予定されておりますフォアス事業の補助金の決定というものがございましたので、今回、計上をさせていただいております。

それでは、続きまして、6ページをお願いいたします。

6ページの上のほうでございますが、款の15. 県支出金、項の2. 県補助金、目の2. 民生費補助金、節の4. 児童福祉費補助金10,396千円、右の説明のほうに参りまして、安心子ども基金特別対策事業費補助金10,100千円でございます。この10,100千円が2種類に分かれておまして、このうち保育士処遇改善臨時特例事業の財源でございます704千円、10,100千円から704千円を除きました9,396千円、この9,396千円が歳出予算で計上いたしております。

す子ども子育て支援システム構築委託料の財源として全額を補助されるというものでございます。

続きまして、7ページ真ん中の表をお願いいたします。

款の18. 繰入金、項の1. 基金繰入金、目の1. 財政調整基金繰入金、節の1. 財政調整基金繰入金△30,615千円でございます。これは財政調整基金の取り崩しというものを現在までの予算で予定しておりますけれども、その取り崩しの額を減額するというものでございます。これによりまして、年度末の基金額というものは197,000千円ということで予定をいたしております。

続きまして、歳出のほうに入っております。

8ページをお願いいたします。

8ページ、款の2. 総務費、項の1. 総務管理費、目の1. 一般管理費、節の19. 負担金、補助及び交付金、右側の上から2つ目の市町村職員共済組合追加費用△7,978千円、これにつきましては、恩給分といたしまして当初予算に概算で20,639千円というものを計上いたしておりましたけれども、12,661千円ということでこの負担金が確定をいたしましたので、その差額でございます金額△7,978千円、これを計上いたしましたものでございます。

続きまして、9ページ、款の2. 総務費、項の1. 総務管理費、目の17. 地域の元気臨時交付金、節の25. 積立金54,028千円でございます。これは平成26年度に、先ほど申し上げましたように、事業を実施するために基金に積み立てるというものでございます。

続きまして、12ページをお願いいたします。

12ページ、下の表の款の3. 民生費、項の1. 社会福祉費、目の2. 障害者福祉費、節の23. 償還金、利子及び割引料6,589千円、このうち説明のほうの一番上ですが、障害者自立支援給付費国庫負担金返納金3,680千円でございます。これは平成24年度の事業実績に伴います返納金でございます。

続きまして、13ページをお願いいたします。

13ページ、下の表でございます。款の3. 民生費、項の2. 児童福祉費、目の1. 児童福祉総務費、節の13. 委託料9,396千円、子ども子育て支援システム構築委託料でございます。これは先ほどから申し上げますように、補助を受けて支援システムを構築する業務を委託するというための経費でございます。

続きまして、節の20. 扶助費、同じ表の一番下のほうでございますが、扶助費10,331千円、保育所運営費でございます。これにつきましては、保育所への子供さんたちの入所というものが増加をいたしましたので、保育所に支払う運営費をここのほうで増額分を計上いたしております。

続きまして、14ページをお願いいたします。

14ページ、下の表でございます。款の4. 衛生費、項の1. 保健衛生費、目の3. 母子衛

生費、節の25. 積立金7,000千円、これは子どもの医療費助成の町単独分の財源とするために、特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当いたしまして、基金のほうに積み立てるというものでございます。

それから、すぐ下のほうでございますが、同じ款の4. 衛生費、項の1. 保健衛生費、目の4. 健康増進事業費、節の19. 負担金、補助及び交付金3,818千円、右のほうの説明で、すぐ横でございますが、前年度後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金3,834千円でございます。これは平成24年度の後期高齢の事業実績によります療養給付費負担金の精算額でございます。

続きまして、17ページをお願いいたします。

17ページ、上の表でございます。款の6. 農林水産業費、項の1. 農業費、目の7. 農業基盤整備促進事業費、節の13. 委託料3,100千円、それから、すぐ下の節の15. 工事請負費36,000千円、これにつきましては碓地区内の農地約18ヘクタールのほうのフォアス事業を実施するための予算ということで、碓地区の測量設計業務として委託が3,100千円、それから暗渠排水工事費としまして36,000千円ということで計上をさせていただいております。

続きまして、18ページをお願いいたします。

18ページ、上の表ですが、款の8. 土木費、項の2. 道路橋梁費、目の3. 道路新設改良費、節の17. 公有財産購入費19,000千円、用地購入費でございます。これは町道三上南北1号線及び町道三上2号線の拡幅用地の購入費でございます。2つの拡幅用地につきましては、先行取得の依頼をいたしておりました三養基西部土地開発公社のほうから買い戻すというものでございます。

続きまして、20ページをお願いいたします。

20ページ、上の表、款の9. 消防費、項の1. 消防費、目の1. 非常備消防費、節の18. 備品購入費△3,700千円、説明のほうの消防車購入費△4,300千円というものでございます。これは6月補正予算で、消防ポンプ車購入費といたしまして22,304千円という金額を計上しておりましたけれども、入札によりまして18,004千円ということで、入札による額の確定がございましたので、その差額を減額いたしておるものでございます。

続きまして、24ページをお願いいたします。

款の12. 公債費、項の1. 公債費、目の2. 利子、節の23. 償還金、利子及び割引料△3,271千円、償還利子、これは9月議会で承認をいただきました地方債補正に基づきまして借りかえを実施しました。この結果といたしまして、償還利子が減っておりますので、今回、減額をするというものでございます。

以上で議案第58号及び議案第63号の補足説明を終わります。よろしく御審議の上、御了解くださいますようお願いをいたします。

○議長（中山五雄君）

ほかに補足説明はありませんか。

○住民課長（江頭欣宏君）

私のほうより議案第59号 上峰町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例及び議案第60号 上峰町子どもの医療費の助成基金条例について補足説明をさせていただきます。

この2議案については、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業との関連性がありますので、以下3点について説明をさせていただきます。まず1点目ですが、議案第59号の新旧対照表をお開きください。

主な改正内容は、助成範囲を現在、小学生入院までを今回、小学生及び中学生の通院、入院まで拡大するために、第2条定義、右側、改正前の子供の年齢が「12歳」を改正後は「15歳」に改めております。

次に、第4条の助成の第1項、改正前の項目で「第1号対象者の助成は」とありますが、このことはゼロ歳から6歳までの就学前の子供をあらわしており、医療費助成は県内統一で、一月、一医療機関ごとに保護者負担通院1回当たり上限額500円を2回まで、院外薬局での薬代は無料です。また、入院については上限千円となっております。

第2項に「第2号対象者の助成」とありますが、この分は現在、本町単独事業で、小学生の入院、一月、医療機関ごとの保護者負担上限額千円となっておりますのでございます。表左側、改正後の助成方法、第4条第2項において、第1号対象者は今までのとおり、窓口定額一部支払い方法と窓口全額支払い還付方法により助成するものとし、2号対象者である小学生、中学生の通院については、一月、一医療機関ごとに保護者負担1回当たり上限額500円を2回まで、院外薬局での薬代は無料、また入院については上限千円として、窓口全額支払い還付方法による助成方法でお願いするものでございます。

以下、受給資格者証、助成期間、支給方法、助成の制限の一部改正は先ほど説明した内容の改正に伴うものでございますので、略させていただきます。

次に2点目、議案第60号 上峰町子どもの医療費の助成基金条例について御説明をさせていただきます。

この議案を上程するに当たり、昨年12月定例議会の全員協議会の折、平成25年度から29年度、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業計画案の中で、政令で定める事業として、医療に関する事業名、子どもの医療費助成基金造成について御説明をさせていただきました案件の制定でございます。

内容については、今年度から基金積み立てを行い、来年度から医療費の助成実施を行うために、第1条の設置から以下第6条の委任までを定めさせていただいておりますので、よろしくお願いたします。

なお、第5条 処分の条項において、別添の上峰町子どもの医療費の助成基金条例施行規

則を定め、基金の事業と対象経費を明記しておりますので、よろしくお願いたします。なお、助成の範囲については、議案第59号で説明させていただきました内容の第2号対象者である小学生、中学生の通院、入院の医療費の一部助成でございます。

最後、3点目ですが、基金造成金についてですが、昨年の全員協議会の折、医療費助成範囲案を小学生入院、通院までの計画で、基金積立金を5,000千円と申し上げ議論していただき、それを踏まえまして検討をいたしました。今回、2期目を迎えられました町長の公約である子ども・子育てのまちづくりとして小学生及び中学生の入院、通院まで拡充して、保護者の負担軽減を図るため算出したところ7,000千円となりました。つきましては、先ほど企画課長より説明がありました一般会計補正予算（第5号）において、子どもの医療費助成基金積立金7,000千円の補正をお願いしておりますので、よろしくお願いたします。

以上、議案第59号及び議案第60号の補足説明を終わりますので、よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（中山五雄君）

ほかに補足説明を求めます。

○健康福祉課長（岡 義行君）

おはようございます。私のほうから議案第61号、議案第64号、議案第66号の補足説明をさせていただきます。

まず最初に、議案第61号 上峰町高齢者に対するあん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅう等の施術についての給付条例の補足説明をさせていただきます。

この条例につきましては、65歳以上の高齢者に対し、あん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅうの施術料について給付をすることによりまして、高齢者の心身の健康を保持し、老人福祉の向上に資することを目的として設置するものでございます。

まず第1条で目的、第2条で定義で、高齢者とは本町の住民基本台帳に登録されている65歳以上の者としております。

第3条で給付の申請、第4条で給付の方法で、給付額は規則で定めるものとしております。

第5条、施術師の範囲と指定申請で、あん摩等の施術師は、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律に定められた免許保持者としまして、指定申請書を提出し、指定を受けなければならないとしております。

第6条の委任、施行に関し必要な事項につきましては規則で定めるとしております。

なお、附則で、施行は平成26年4月1日からとしております。

施行規則をごらんください。

施行規則の第1条では趣旨、第2条で給付の申請、第3条の施術券の交付等の第2項のほうで、施術券を月1枚として算定した枚数を12枚以内で一括交付し、有効期限は年度末としております。

第4条で、施術券1枚の給付額は1回千円以内としております。

第5条、受診の手続、第6条、給付費の請求等。施術師が翌月の10日までに施術券を添えて提出するものとしております。

第7条、指定の申請、第8条、指定書の交付、第9条、指定の取消又は停止、第10条で給付費の返還、第11条では補則で、附則で施行は平成26年4月1日からとしております。

以上で議案第61号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第64号 平成25年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の補足説明をさせていただきます。

予算書の3枚目、2ページをお願いいたします。

第1表 歳入歳出予算補正をお願いします。

歳入。

款の4. 国庫支出金、補正額348千円、計の202,966千円。

款の7. 県支出金、補正額51千円、計の39,997千円。

款の10. 繰入金、補正額512千円、計の36,664千円。

歳入合計、補正額911千円、計の1,055,260千円。

裏面3ページをお願いします。

歳出。

款の1. 総務費、補正額229千円、計の4,458千円。

款の2. 保険給付費、補正額850千円、計の647,435千円。

款の7. 共同事業拠出金、補正額15千円、計の130,878千円。

款の8. 保険事業費、補正額126千円、計の7,404千円。

款の11. 諸支出金、補正額131千円、計の18,969千円。

款の12. 予備費、補正額△440千円、計の103,197千円。

歳出合計、補正額911千円、計1,055,260千円。

説明書のほうで御説明をさせていただきます。

3ページをお願いします。

歳入で款の4. 国庫支出金、項の1. 国庫負担金、目の1の療養給付費等負担金、節の1. 現年度分、補正額272千円と、その下の目の1の財政調整交付金、節の1の普通調整交付金、補正額76千円と、その下の県補助金で節の2. 県調整交付金、補正額51千円につきましては、歳出のほうで補正しております一般被保険者療養費負担金の補正850千円に対しますところの歳入予算の補正でございます。

1枚めくっていただきまして、4ページをお願いします。

款の10. 繰入金、項の1. 他会計繰入金、目の1. 一般会計繰入金、節の1. 一般会計繰入金の補正額512千円につきましては、普通交付税の確定に伴いましたところで、一般会計

からの繰入金の補正でございます。

5ページをお願いします。

歳出。

款の1. 総務費、項の1. 総務管理費、目の1. 一般管理費、節の13. 委託料、補正額229千円につきましては、今後の交通事故等の第三者行為の事務費手数料の見込み額を313千円として算出しましたところの補正でございます。

款の2. 保険給付費、項の1. 療養諸費、目の3. 一般保険者療養費、節の19. 負担金、補助及び交付金、補正額850千円につきましては、今後の支出を月約550千円という見込みで算出しましての補正でございます。

款の7. 共同事業拠出金、項の1. 共同事業拠出金、目の1. 高額医療費拠出金、節の19. 負担金、補助及び交付金、補正額15千円につきましては、高額医療費の共同事業交付金の差額調整によります不足額の補正でございます。

6ページをお願いします。

款の8. 保険事業費、項の1. 特定健診等事業費、目の1. 特定健康診査等事業費、補正額126千円につきましては、特定健診の集団検診を年明けまして再度1日間実施するための必要経費の補正でございます。

款の11. 諸支出金、項の1. 償還金及び還付加算金、目の2. 償還金、節の23. 償還金、利子及び割引料、補正額131千円は前年度の特定健診、保健指導等負担金の確定による国、県へ返納するための補正でございます。

款の12、項の1、目の1の予備費につきましては、補正額△440千円になりまして、その後の予備費の額というのが103,197千円になっております。

以上で第64号の補足説明を終わります。

次に、議案第66号 鳥栖・三養基地区障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更に係る協議についての補足説明をさせていただきます。

この議案につきましては、鳥栖・三養基地区1市3町で設置しております規約の変更でありまして、各構成市町の議会の議決が必要となっておりますので提案しているものでございますけれども、新旧対照表をお願いいたします。

1行目の題名の変更で、「障害程度区分」を「障害支援区分」、第2条の部分も「障害程度区分」を「障害支援区分」というふうに改める内容でございます。

なお、この施行につきましては、平成26年4月1日からということになっております。

以上で第66号の補足説明を終わります。

以上、3議案の御審議をよろしくお願いいたします。

○議長（中山五雄君）

ほかに補足説明はありませんか。

○振興課長（江崎文男君）

おはようございます。私のほうからは、議案第62号と議案第65号につきまして補足説明をさせていただきます。

まず、議案第62号でございます。上峰町都市計画審議会条例の一部を改正する条例でございます。先ほど、議案第55号の上峰町課の設置条例の改正に伴いまして、今回、上峰町都市計画審議会条例の第9条第1項中の「企画課」を「建設課」に改めるものでございます。

別紙新旧対照表をお願いいたします。

これによりまして、現行の第9条の審議会の庶務は、「企画課」において処理する。これを「建設課」に変えるものでございます。

この条例改正につきましては、前回の上峰町の課の設置条例の改正時に振興課となったときに、この都市計画関係も企画課のほうから振興課のほうに移っているものでございます。よって、上峰町の都市計画審議会条例の中の先ほどの第9条第1項につきましては、そのときに課の変更として企画課から振興課への変更をすべきであったものでございます。このことにつきましては、深くおわび申し上げたいと思います。今後はこのようなことがないように努めますので、よろしくをお願いいたします。

続きまして、議案第65号をお願いいたします。

平成25年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算書（第2号）について説明申し上げます。

2ページをお願いいたします。

第1表 歳入歳出予算補正。

歳入でございます。

款の2の使用料及び手数料、項の1の使用料でございます。補正額4,800千円、計の134,100千円でございます。

歳入合計といたしまして、補正額4,800千円、計の778,763千円でございます。

続きまして、3ページをお願いいたします。

歳出。

款の1の総務費、項の1の総務管理費、補正額が4,800千円、計の164,407千円でございます。

款の2の事業費、項の1の事業費、補正額3,624千円、計の174,374千円。

款の3の公債費、項の1の公債費、減の3,624千円、計の439,482千円。

歳出合計でございます。補正額4,800千円、計の778,763千円でございます。

続きまして、説明書により説明をいたしたいと思います。

説明書のほうの3ページをお願いいたします。

3ページの歳入でございます。

款の2の使用料及び手数料、項の1の使用料、目の1の使用料でございます。これにつき

ましては、今年度の収入見込みが出ましたので、今回計上している分でございます。

続きまして、4ページの歳出を願いたします。

款の1の総務費、項の1の総務管理費、目の1の一般管理費でございます。

節の11の需用費で、消耗品といたしまして真空弁のオーバーホール分の部品代、それと緊急時に備えましての修繕費721千円を計上しております。――消耗品につきましてが2,000千円で、真空弁のオーバーホール分の部品代、それと修繕費が先ほど申し上げましたとおり、緊急時に備えての721千円でございます。

続きまして、13節の委託料、下水道使用料徴収事務委託料、これにつきましては東部水道企業団のほうに委託しております分の徴収委託料について、調定件数がふえた分の増額でございます。

また、農業集落排水処理施設維持管理委託料として2,000千円増額しております。この中身につきましては、九電の電気料金の値上げに伴いまして、今、管理委託をしております第一環境との委託契約の増額ということで計上いたしております。

続きまして、款の2の事業費、項の1の事業費、目の1の事業費でございます。12節の役務費の78千円につきましては、今現在発注しております中継ポンプの新規2機分の電話加入料を計上しております。

続きまして、22節の補償、補填及び賠償金でございます。これもまた、今現在、管路埋設工事を発注しております、管路埋設工事に伴いまして上水道の移設工事が出てきております。その分の移設工事に伴う補償費ということで3,527千円計上しております。

最後になりますけれども、5ページ、款3の公債費、1項の公債費でございます。この公債費につきましては、平成20年度の平準化債並びに事業化債の借りかえに伴います償還元金と償還利子の変更が出ておりますので、その分の計上をしております。

以上でございます。よろしく審議のほどお願いいたします。

○議長（中山五雄君）

ほかに補足説明があれば求めます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中山五雄君）

ないようですので、これで補足説明を終わります。

以上で提案理由の説明を終わります。

お諮りいたします。以上をもちまして本日の日程は全部終了いたしました。本日はこれをもって散会したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中山五雄君）

異議なしと認めます。よって、本日はこれをもって散会することに決定いたしました。

これをもって散会いたします。本日は大変お疲れさまでした。どうもありがとうございました。

午前11時47分 散会